

## 令和2年度 いわき福祉会 事業報告

はじめに

令和2年4月北九州市から民営化移譲を受けた天籟寺保育所の引継ぎを無事終え運営開始することができました。事業の持続的運営を通じて地域福祉の向上に努め、市町村の様々な福祉施策を推進し、事業開始より23年間にわたりその役割と存在意義を高めてきました。1998年に事業開始した特別養護老人ホームを柱に障がい福祉事業及び保育所運営まで開設時より事業を拡大し、新規9拠点目となった天籟寺保育所は、仮移転をすませ、新時代に即応した多機能園舎として計画どおり年度末に着工しました。

社会福祉法人には「地域における公益的な取組み」を行うことが責務化され、経営基盤の強化を図るとともに、福祉サービスの質の向上と地域における福祉課題を把握し、関係機関との連携で解決を図っていくなど、各事業所のサービス提供の目的とねらいをはっきりとしながら、非常事態の中でも、可能な限り情報の共有、施設間・医療法人との連携など、職員と共に取り組みました。

法人設立時より今日までご尽力をいただいた監事、評議員がご逝去され、役員は新体制となり、法人職員数も現在350名を超える規模にまで拡張し、福祉分野でも地域の主たる法人となりました。

専門職の確保・育成が困難となる中、医療法人医和基会と協力し、外国人の採用、育成奨学金制度を創設、業務効率化のためICT化の推進、部署の実情に応じてインカムや給与オンラインシステム等の導入を図りました。2021年度の介護報酬の改定を踏まえ、情報収集、各種加算取得、利用者負担の見直し、保険外サービス等を検討し、それぞれの事業所でゆりかごから看取りまで、利用者の満足度の上がるサービスの提供に合わせ、職員一丸となつての創意工夫、またJKAから車両の助成を受けた訪問入浴サービス、看取り、家族葬に対応するため、おくりびと事業など新たな地域貢献事業を実現してまいりました。

### 1. 感染対応力の強化で持続的な支援・経営基盤の安定を図る

令和2年当初に起きた、新型コロナウイルス・パンデミックの発生により社会情勢・日常生活が一変しました。かつて経験したことのない非常事態であり、ワクチン接種や薬の開発も遅れ、現時点では見通しもつかない中での生活制限・経済の停滞は社会福祉法人のみならず我が国の危機である厳しい情勢であります。

在宅サービスの受け入れ制限や待機利用者の減員は安定した事業運営を行うことができず大きな支障をきたしましたが、その様な中でも、感染拡大にいち早く努め、不足しているマスク、消毒液等の確保を医療法人との連携で対応することができました。市町村との連携、補助金申請及び、感染症対策の留意点に基づき注意喚起することで新型コロナウイルス及びインフルエンザの発生は概ね抑えることができました。

しかし、保育園2か所で新型コロナウイルス陽性者が発生し休園を余儀なくされましたが、利用者、職員・施設の安全衛生を確保し、早期の開園を果たすことができました。

それぞれの事業所で利用者の満足度の上がるサービス提供を行うため、法人・職員一丸となって現場対応努め、衛生管理、安全対策の徹底による「命」を守ることを第一に事業運営を実践してまいりました。

私たちには地域の幅広い福祉ニーズへの支援を期待されており「いわき福祉会らしく」、主体的に、利用者視点に立ち、喜んでもらえるように、衛生管理、感染対策に留意し、コロナ禍においても、可能な限り、高齢・障がい・保育の多様な福祉ニーズに対応できるように心がけてまいりました。

感染対応力の強化、持続的な生活支援、サービスの提供が今後の課題であり、次年度の法人目標といたします。高齢者施設では1年間以上続く面会制限、活動制限で家族との大切な時間が失われ、意欲や心身面での機能低下が不安視されています。同様に保育施設も入園・卒園式・運動会・生活発表会の中止や縮小による子どもたちの日常生活のなかで様々な体験・経験の機会が失われないように意識して取り組みました。

コロナ禍の1年間で利用率の低下や、収入減、支出増などによる財政赤字の中、安定した稼働率を

維持できるように、職員全員の力を結集して取り組んできた結果、電気、保守、固定経費の見直しをはじめ法人全体で徐々に成果が出始めてきていますので、法令を遵守し、介護保険の制度を先読みし、質の高いサービス、インセンティブ加算等の取得、利用者の利益を原点に考え、生産性の向上を目指し、施設整備改修等を含め最小コストで最大の満足を提供できるように引き続き取り組んでまいります。

介護・保育の現場で、分業化を図り負担の軽減により、課題とされている介護離職の抑制や人材不足の解決、人材確保・育成ができる組織体制を構築し、地域・利用者・家族のニーズに応えられるように既存サービス、地域との連携を図り、働きやすい職場環境の構築に向け現在整備を進めています。

今後も、如何にして、他法人との差別化を図るか、法人の特色を打ち出すかが必要となります。そのためにも、全事業所で利用者視点に立って、地域福祉の貢献、日常生活の充実支援を行わなければなりません。

まだまだ続くコロナ禍の中で、社会福祉環境の変化にもスピード感をもって的確に対応し、地域における福祉サービス提供の先駆的・中核的な役割を担うためにも、市町村・社協と連携の強化により、役割分担の明確化を行い、地域づくり、福祉の推進、さらに質の高い支援やサービスを提供するため、人材育成や、経営基盤の安定を図ることが必要であります。

## 2. 各事業所で最善のケアを実現する

新型コロナという未知のウィルス禍の中で、各事業所は感染対応に最大限留意して、人々の尊厳を守り、自立支援を目標とし、「当たり前の暮らしとは何か」を問い続け、いつまでも住み慣れた地域で安心とやすらぎに包まれて自分らしく暮らし続けることが出来るように全体で取り組んでまいりました。

各事業所で、お一人お一人の真のニーズを把握するとともに、ご家族等の意見や要望を把握しました。

日々のOJTや内部研修・メンタルケア・WEBによる各種協会・連盟等の主催研修、スキルアップ研修を出来るだけ継続開催し、サービスの向上に努めてまいりました。

利用者への処遇向上や見直しの機会として、各種検討委員会や、ご利用者・ご家族からの苦情、サービス向上の要望などの解決を図るため、家族会の代わりに、電話連絡、手紙などで対応し、看取りケア方には特別な環境下での可能な限り、触れ合いの時間を大切に、最善のケア日常生活充実支援を図ってまいりました。

引き続き入所施設では、人生100年時代にふさわしい支援づくりのために三大介護を基本として、重度化・認知症・看取りケア・心身機能回復など福祉の医療化が進む中、更なる医療連携を図り、理論に基づいた自立支援が行えるように介護の専門性確立と社会的評価の向上を目指してまいります。

職員間の緊密な連携の下に法人各事業所の定床管理・効率的な運営により収支・処遇の改善を図り、利用者や地域住民の真のニーズの把握を行い、サービスの提供及び質の向上を図ってまいります。

## 3. 各事業所で安定した事業運営を確立する

令和2年度は天籟寺保育所の開始で収入の増加はありますが、人件費増額、経費増による厳しい状況は変わっていない中、業務委託費、光熱水費など見直し、法人全体で経費を抑え、各事業所の努力と、医療福祉連携の強化による入所施設の入院者の管理、稼働率を高め、経費削減により経営状態は回復傾向にあります。

しかしながら、新型コロナウイルスの発生で各事業所は、物資不足の中、衛生管理強化、受入れ、日常生活の制限、縮小等を余儀なくされ、法人事業は依然として大変厳しい情勢は続いています。

令和2年10月JK Aから車両助成を受けて、訪問入浴事業の開始を行いました。医師会との事業提携により、利用者は当初目標に近づいています。おくりびと事業(令和2年度は5例)を取り入れた終末期ケア、在宅福祉の推進、地域包括ケアの目的に合った事業を行うため、業務の見直し、処遇改善、利用者及び職員確保に努めて安定した事業を目指してまいりました。

すべての法人事業の運営について見直しを行い、サービス向上による利用拡大とすべての事業の効率的執行によって法人の財政基盤を建て直していくことが不可欠であり、今後も創意工夫した法人運営により、情報発信・利用者確保と更なるサービス向上と、子どもからお年寄りまで、すべての地域住民の拠り所となる社会福祉法人を目指し、各事業所で「知恵とおもいやり」をもって安定した事業運営を確立してまいります。

#### 4. 新時代に即応した多様な福祉ニーズ、地域貢献を創出する

今後も続く厳しい財政状況の中、感染症対応力を強化し、各種サービス向上、利用稼働率、新規利用者獲得、働き方改革、人材確保・育成、処遇改善を重点事項として、新しい時代・制度を見据え、高齢・障がい・保育の多様な福祉ニーズに幅広く対応しなければなりません。

職員のモチベーションアップ、労働負担軽減、業務改善・職務の分業等を目的にICT化、介護ロボット導入検討、外国人労働者の雇用、障がい者の活躍できる環境づくりに引き続き取り組んでまいります。

各事業の人員、業務効率化、生産性向上と新たな加算取得、稼働率アップの取り組みをさらに進めるとともに、在宅サービスの強化、情報発信力の向上や地域との連携強化、業務基盤の強化と情報共有の徹底、本部組織の確立、会議・研修体制の整備と充実による職員の資質・能力の向上などの取り組みをさらに推進していくことが重要であり、業務見直し、効率的執行とサービス向上による利用拡大を図り経営改善を目指してまいります。

特に法令を遵守し、生産性の向上を目指し、利用者の利益と最大の満足を提供できるように努力してまいります。そのためにも、「私たちらしく」、法人全体の事業を検証しながら、「自立支援」や多様な福祉課題やニーズに積極的に行動し、すべての成果に結びつけられるように、現場において真摯に仕事に取り組んでいる職員の努力をよりの確に連携させ、法人全体として更なるサービス向上を実現するために、現場レベルの緊密な連携・協力体制を構築してまいります。

令和3年度の介護報酬の改定を踏まえ対策を検討し、持続可能な体制確保を行い、自立支援から看取りまで、利用者の満足度の上がるサービス提供に合わせ、在宅・訪問・個別サービスを充実させた事業運営を実践してまいります。コロナ禍の中でも人生会議を始め、在宅医療の推進強化により、おくりびとプロジェクト、リクエスト食、訪問入浴事業開始など新たな地域貢献事業を実現することもできました。

このような目標・計画を意識しながら、法人各事業所が役員及び職員間の緊密な連携の下に効率的な運営を行い、サービス向上・収支の改善を図り、将来的にも更なる事業拡大が求められる法人として、ホームページやSNSを使ったタイムリーな情報発信を行い、新時代に即応した地域貢献を創出してまいります。

#### おわりに

次年度は、ワクチンの早期接種を完了し、なんとしても感染症からの克服を目指さなければなりません。

介護・保育の現場で、分業化や効果的なICT化を図り負担の軽減や、就学金制度による、外国人労働者の雇用など課題とされている介護離職の抑制や人材不足の解決、職員の処遇改善を行い、人材確保・育成ができる組織体制を構築し、地域・利用者・家族のニーズに応えられるように既存サービス、地域交流、地域との連携を積極的に図り、働きやすい職場環境の構築に向け一層の整備を進めてまいります。

今後も、利用者視点に立ったサービスの質の向上を最重要課題として、多様なニーズに応えられる職員の資質向上と職員一人一人の能力を最大限に発揮できる組織づくり、医療法人との連携を活かした医療福祉連携強化を目指して、経営分析や収支改善、利用者・地域のニーズに沿った公益性の高い事業の実施を行い、地域社会から愛され信頼される法人になり感染対応力強化、事業の継続性を確保しながら、公共性の高い社会福祉法人としての責務を果たしてまいります。

# 令和2年度 経過報告

## 1. 監査報告

### ■行政監査

種 別	事業所名	内 容
保育所	さんろくこどもえん	書面監査 指摘なし
保育所	はつねほいくえん	書面監査 指摘あり是正済み
保育所	岡垣ほしのほいくえん	一般指導監査 指導あり是正済み
介護老人福祉施設	介護老人福祉施設 やすらぎの郷牧山	書面監査 指摘なし
地域密着型介護老人福祉施設	地域密着型介護老人福祉施設プロムナードとばた	書面監査 指摘なし
地域密着型介護老人福祉施設	地域密着型介護老人福祉施設ルグネットとばた	書面監査 指摘あり是正済み
ケアハウス	ケアハウス金刀比羅	書面監査 指摘あり是正済み

## 2. 事務管理

### ■おもな設備・車両導入・廃車状況

#### (車両導入)

拠点	メーカー	車種・車両No	取得日	内容
やすらぎ	スズキ	エブリイワゴン 北九州 581 す 7988	R3.2.12	購入・メンテナンス
やすらぎ	スズキ	アルト 北九州 581 す 8467	R3.2.18	購入・メンテナンス
プロムナード	トヨタ	ベルタ 北九州 530 に 1172	R2.9.24	中古購入
プロムナード	日産	e-NV200 北九州 100 す 6776	R2.4.28	中古車リース
ケアハウス	ダイハツ	入浴車 北九州 880 あ 1330	R2.8.28	JKA助成対象車
天籟寺	日産	セレナ 北九州 501 む 7728	R3.2.2	中古車リース
やすらぎ	トヨタ	アルファード 北九州 337 ち 109	R3.1.29	オートリース

#### (車両廃車)

拠点	メーカー	車種・車両No	取得日	内容(経過年数)	廃車日
プロムナード	トヨタ	カリーナ 北九州 501 つ 1506	H22.4.13	中古購入(30年)	R2.4.12
プロムナード	スズキ	アルト 北九州 50 る 8796	H24.6.29	中古購入(17年)	R2.9.24
やすらぎ	ダイハツ	ムーブ 北九州 50 や 6370	H14.3.12	新規購入(19年)	R3.2.18
やすらぎ	ダイハツ	ミラ 北九州 41 < 2282	H12.8.18	新規購入(20年)	R3.2.18

(建設仮勘定 期末計上分)  
天籟寺保育所 24,393,000円

## 3. 職員配置状況

(R3.3.31現在)

法人職員合計 365 名  
(正) 157 名 (臨) 208 名  
介護・障がい 235 名 保育 130 名

### ■職員数内訳

	介護	理事長	理事	施設長	医師	管理者	木本長	ケアマネ	看護師	介護士	介護補助	生活援助	職業指導	機能訓練	生活支援	計画担当	栄養士	介護士
正職員		1	2	2		3		3	4	61	1	2	2	3	3	1	5	5
臨時職員					1		1	1	11	48	2	2	1		5		1	3

	相談員	ヘルパー	配食員	調理員	事務職	運転士	夜間事務	合計	保育	園長	看護師	保育士	介護士	栄養士	調理員	事務職	運転士	合計
正職員	8			4	5			115				34		2	2	4		42
臨時職員	1	11	1	14	1	1	15	120		4	4	34	34		11		1	88